

2021年12月期第2四半期 決算説明資料

片倉工業株式会社

(コード：3001 東証第1部)

2021年8月31日

1. 2021年12月期第2四半期 決算概要

連結損益計算書

連結損益計算書／セグメント別業績

連結貸借対照表

連結キャッシュフロー計算書

2. 2021年12月期 通期業績予想

連結損益計算書／通期予想

連結損益計算書／セグメント別予想

設備投資額・減価償却費・研究開発費予想

3. 各事業の取り組みと今後の方向性

4. 株主還元について

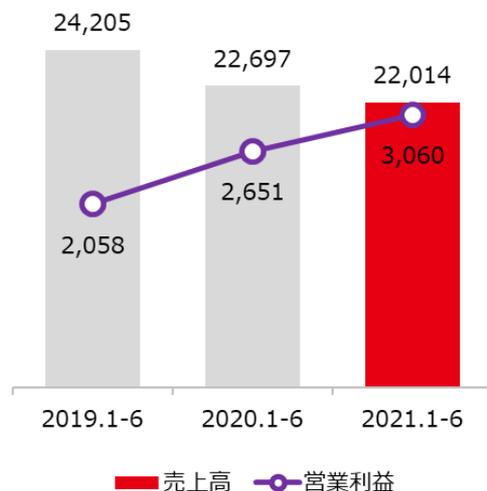
1. 2021年12月期第2四半期 決算概要

主力の不動産事業に加え、機械関連事業、繊維事業が堅調に推移し増益

(金額単位：百万円)

	2021.1-6実績	2020.1-6実績	前期増減	2021.1-6予想	予想との差異
	A	B	A-B	C	A-C
売上高	22,014	22,697	▲ 683	22,200	▲ 186
営業利益	3,060	2,651	409	2,400	660
営業利益率	13.9%	11.7%	2.2pt	10.8%	3.1pt
経常利益	3,526	3,068	458	2,850	676
特別利益	3,874	0	3,874	-	-
特別損失	▲ 102	▲ 1,273	1,171	-	-
税引前利益	7,298	1,794	5,504	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,073	1,008	4,065	5,000	73

【過去3年間の業績推移】



【売上高・営業利益】

- 減収も増益（詳細は次ページ）

【特別利益】

- 2021年
固定資産売却益 3,771M
投資有価証券売却益 102M

【特別損失】

- 2021年
割増退職金 ▲102M
- 2020年
割増退職金 ▲993M
新型コロナウイルス感染症による損失 ▲280M

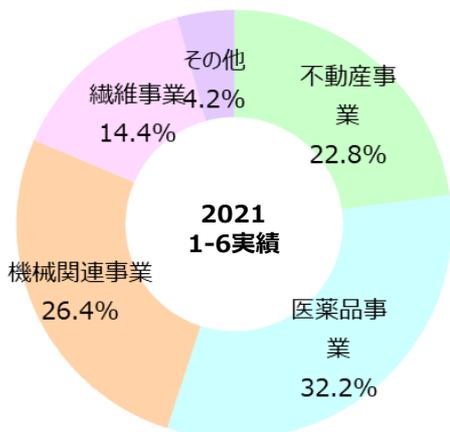
【売上高・営業利益・経常利益】

- 医薬品・機械関連事業の減収
- 不動産・繊維事業の増収、機械関連事業の原価低減の取り組みにより増益

(金額単位：百万円)

	2021.1-6実績		2020.1-6実績		前期増減	
	A		B		A-B	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
不動産事業	5,021	1,961	4,596	1,794	① 425	167
医薬品事業	7,084	628	7,899	953	② ▲ 815	▲ 325
機械関連事業	5,818	521	6,168	280	③ ▲ 350	241
繊維事業	3,160	398	3,155	173	④ 5	225
その他	928	118	877	68	⑤ 51	50
調整額	-	▲ 567	-	▲ 619	-	52
合計	22,014	3,060	22,697	2,651	▲ 683	409

セグメント別売上高構成比


①：不動産で増収・増益

- ・ 前期にショッピングセンターの臨時休館、営業時間短縮を行った反動により増収・増益

②：医薬品で減収・減益

- ・ 薬価改定の影響に加え、長期収載品「フランドルテープ」の販売減等により減収・減益

③：機械関連で減収ながら増益

- ・ 消防自動車関連で一般消防車の受注減により減収
- ・ 原価低減の取り組みによる採算性向上により増益

④：繊維で増収・増益

- ・ 耐熱性繊維等の機能性繊維の堅調により増収
- ・ 上記増収に加え、労務費、販売費等の減少により増益

⑤：その他で増収・増益

- ・ 訪花昆虫の販売、ビル管理サービス等が好調に推移し、増収・増益

連結貸借対照表

(金額単位：百万円)

	2021.6	2020.12	前期増減
	A	B	A-B
流動資産	55,406	53,822	1,584
固定資産	83,487	80,561	2,926
有形固定資産	45,168	46,143	▲ 975
無形固定資産	271	381	▲ 110
投資その他の資産	38,047	34,036	4,011
投資有価証券	35,250	31,166	4,084
資産合計	138,893	134,384	4,509
負債合計	50,128	52,541	▲ 2,413
借入金	11,806	12,713	▲ 907
預り敷金保証金	9,111	9,084	27
繰延税金負債	9,740	8,622	1,118
純資産合計	88,765	81,843	6,922
その他有価証券評価差額金	16,183	14,264	1,919
負債・純資産合計	138,893	134,384	4,509

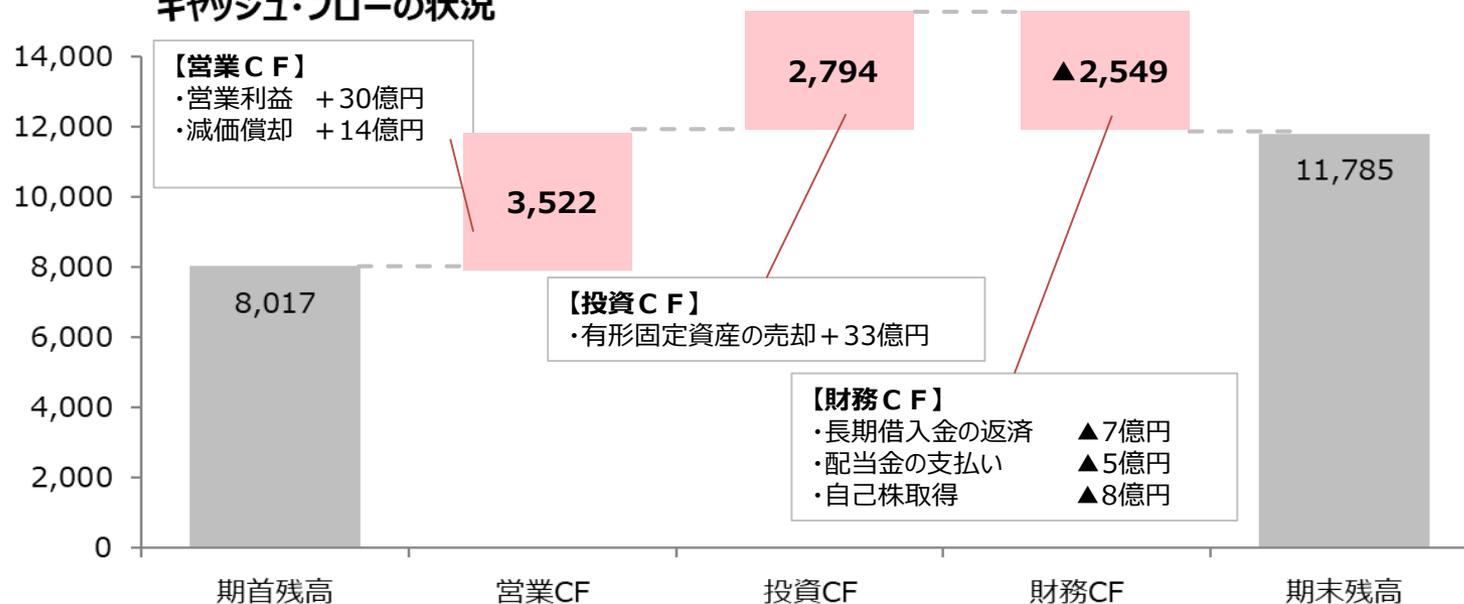
• 投資有価証券の時価差額

• 返済による減

(金額単位：百万円)

	2021.1-6実績	2020.1-6実績
現金及び現金同等物の期首残高	8,017	3,503
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,522	2,245
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,794	1,668
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 2,549	▲ 2,002
現金及び現金同等物の増減額	3,767	1,911
現金及び現金同等物の期末残高	11,785	5,414

キャッシュ・フローの状況



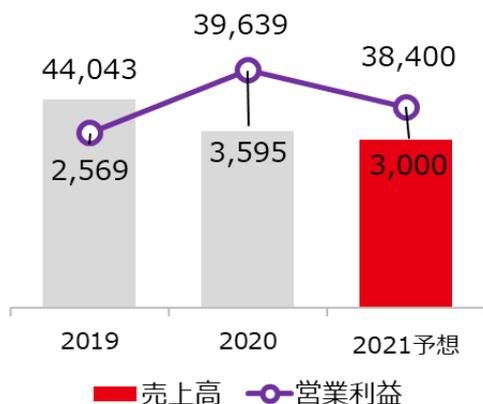
2. 2021年12月期 通期業績予想

業績予想については、下期業績の悪化懸念等から当初予想を据え置き
医薬品事業、機械関連事業の減収により営業・経常減益を見込む

(金額単位：百万円)

	2021予想	2020実績	前期増減
	A	B	A-B
売上高	38,400	39,639	▲ 1,239
営業利益	3,000	3,595	▲ 595
営業利益率	7.8%	9.1%	▲ 1.3pt
経常利益	3,800	4,544	▲ 744
特別利益	4,100	1,752	2,348
特別損失	▲ 1,400	▲ 1,827	427
親会社株主に帰属する当期純利益	4,400	2,871	1,529

【過去3年間の業績推移】



【売上高・営業利益】

- 減収減益の見通し（詳細は次ページ）

【主な特別損益】

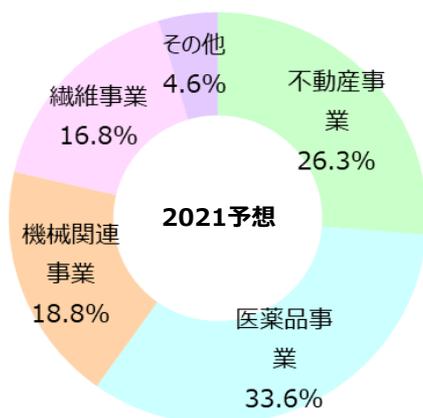
- 前期：政策保有株式、社有地等の売却
割増退職金 ▲993
新型コロナウイルス感染拡大による損失 ▲280
- 当期：社有地等の売却、政策保有株式の売却
機械電子事業部撤退損失 ▲441

コロナ禍で抑制した修繕・設備投資や施設の鮮度維持等の戦略投資の実施、 医薬品事業における前期反動等により減益

(金額単位：百万円)

	2021予想		2020実績		前期増減	
	A		B		A-B	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
不動産事業	10,100	3,450	9,827	3,691	① 273	▲ 241
医薬品事業	12,900	200	13,729	579	② ▲ 829	▲ 379
機械関連事業	7,200	100	8,069	93	③ ▲ 869	7
繊維事業	6,450	350	6,353	274	④ 97	76
その他	1,750	100	1,659	103	91	▲ 3
調整額	-	▲ 1,200	-	▲ 1,146	-	▲ 54
合計	38,400	3,000	39,639	3,595	▲ 1,239	▲ 595

セグメント別売上高構成比



①：不動産で増収ながら減益

- ・ 前期にショッピングセンターの臨時休館、営業時間短縮を行った反動により増収。
- ・ コロナ禍で抑制した修繕・設備投資の実施や、施設の鮮度維持等の投資を行うため、減益。

②：医薬品で減収・減益

- ・ 薬価改定の影響に加え、前期にパンデミックに備えた販社への納入があった反動により減収減益。

③：機械関連で減収ながら、採算性の改善により前期並みの利益水準

④：繊維で増収・増益

- ・ 耐熱性繊維等の機能性繊維の堅調に加え、構造改革による収益性改善により増収増益。

(参考) セグメント別 上期・下期比較

- 不動産は、下期で上期並みの売上を見込む一方、上期に抑制した修繕・設備投資の実施や、施設の鮮度維持等の投資を行うため、上期に比べ営業利益は減少する見通しです。
- 医薬品は、本年4月の薬価改定の影響に加え、上期にオリパラに伴う出荷の前倒しを行ったため、下期は上期に比べて売上・営業利益は減少する見通しです。
- 機械関連は、消防自動車の出荷が1～3月に集中するため、下期は例年ダウントレンドとなります。
- 繊維は、下期については実用衣料事業において、物流施設の修繕費用を見込むこと等から赤字を見込んでおります。

(金額単位：百万円)

	2021上期		2021下期予想		増減	
	A		B		B-A	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
不動産事業	5,021	1,961	5,079	1,489	58	▲ 472
医薬品事業	7,084	628	5,816	▲ 428	▲ 1,268	▲ 1,056
機械関連事業	5,818	521	1,382	▲ 421	▲ 4,436	▲ 942
繊維事業	3,160	398	3,290	▲ 48	130	▲ 446
その他	928	118	822	▲ 18	▲ 106	▲ 136
調整額	—	▲ 567	—	▲ 633	—	▲ 66
合計	22,014	3,060	16,386	▲ 60	▲ 5,628	▲ 3,120

設備投資額・減価償却費・研究開発費予想

(金額単位：百万円)

		2021修正予想	2020実績	前期増減	2021期初予想	差異
		A	B	A-B	C	A-C
	不動産事業	1,220	209	1,011	1,540	▲ 320
	その他のセグメント	1,370	1,318	52	1,370	0
設備投資額		2,590	1,527	1,063	2,910	▲ 320

- ・2020年はコロナ禍において設備投資を抑制。
- ・2021年は地方社有地の開発に加えて、さいたま新都心における戦略的投資を実施。

	不動産事業	1,489	1,569	▲ 80	1,500	▲ 11
	医薬品事業	831	946	▲ 115	810	21
	その他のセグメント	470	440	30	470	0
減価償却費		2,790	2,955	▲ 165	2,780	10

	医薬品事業	2,131	1,981	150	2,100	31
	その他のセグメント	79	65	14	90	▲ 11
研究開発費		2,210	2,046	164	2,190	20

3. 各事業の取り組みと今後の方向性

(1) 不動産事業（全般）

【事業の課題】

- さいたま新都心における「まちづくり事業」を中核事業と位置づけ、不動産事業および不動産周辺ビジネスの拡充
- その他の社有地の効率的な活用
- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響による外部環境の変化を見極めた最適な大規模投資の検討

【取り組み】

- JRさいたま新都心駅前社有地商業エリア「コクーンシティ」におけるリニューアルの実施（詳細は次頁）
- 地方社有地の効率的な活用（長野県松本市/福島県福島市）

- 
- ・さいたま新都心における「第三期開発」については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け一時凍結。
→**新型コロナウイルス感染症の収束状況や社会の変化等を見極め、さいたま新都心における不動産周辺ビジネスと合わせて検討を継続。**
 - ・一方、足元ではJRさいたま新都心駅前社有地商業エリア「コクーンシティ」において、施設鮮度維持のための戦略的な投資の一環として、大型な店舗の入れ替えを現在実施中。2021年下期については、施設の大幅な修繕も予定。

(1) 不動産事業～さいたま新都心①

首都圏商業を中心にコロナ禍の影響が継続する中、コクーンシティ（さいたま新都心）では、お客様ニーズ・マーケットの変化に合わせ、開業後初となるリニューアルを積極的に推進。

- 2015年のコクーン2開業から6年が経過。これまでの営業を通じて蓄積したマーケットでの顧客支持を更に強化するべく、リニューアル計画を着実に推進（上期15店舗オープン）。
- ウィズコロナ、アフターコロナにおける新しい価値観やライフスタイルの変化を見据え、日々のお客様の生活をアップグレードする多彩なテナント揃えを実現。
- 大型マンション、オフィス開発等周辺環境も変化。日常、非日常問わず、様々な生活シーンに寄り添った生活拠点としての存在感を更に向上。



JRさいたま新都心駅前社有地商業エリア「コクーンシティ（さいたま市大宮区）」

アクタス、ケユカ、リビングハウスなどおうち時間を楽しくするインテリアや雑貨。ギフトにも嬉しいガトーフェスタハラダやチーズガーデンなど、テイクアウトやイトインも楽しめるスイーツ、レストラン等の15店舗がオープン。
今秋にも約20店舗がオープン予定で、2021年度においては、コクーンシティ全270店舗のうち約40店舗のリニューアルを実施。

(1) 不動産事業～さいたま新都心②

2021年春
リニューアル第1弾

7店舗OPEN

インテリア・生活雑貨ショップ「アクタス」の
大宮・浦和エリア初出店など、洗練された上質で
個性豊かなインテリア・ライフスタイルショップ
をはじめ、機能性とファッション性を併せ持つス
ポーツ・アウトドアブランドを拡充。

ACTUS



アクタス <インテリア・生活雑貨>
コクーン2・1階

2021年夏
リニューアル第2弾

8店舗OPEN

行列の絶えない洋菓子店「ガトーフェスタ ハラダ」
のカフェ併設業態の県内初出店など、人気スイーツ
専門店に加え、第1弾に次ぐインテリアショップが
オープンし、ライフスタイルショップも充実。


PATISSERIE CREATIONS
GATEAU FESTA HARADA



ガトーフェスタハラダ<スイーツ・カフェ>
コクーン2・1階

加えて、2021年秋に約20店舗が新たに
出店予定。

(1) 不動産事業～地方不動産

地方社有地の効率的な活用を推進

■長野県松本市

- 同敷地の一部を住宅展示場として、(株)サンフジ企画へ土地賃貸（2021/7/30契約締結）
- 2021年9月から賃貸開始となり、住宅展示場のOPENは2022年春を予定

■福島県福島市

- スーパーマーケット「ヨークベニマル」を中心とした商業開発を進行中（2020/7/16リリース）
 - ・所在地：福島県福島市入江町4番ほか
 - ・敷地面積：10,247.17㎡（隣接地含む）
- 2021年内の開業を予定



長野県松本市の社有地開発

(2) 各事業の取り組み～医薬品

医薬品事業

【事業の課題】

- ジェネリック医薬品のラインナップ拡充、アウトライセンスによる販売拡大
- 共同研究等のインライセンスによる効率的な創薬開発の強化
- 販売・生産・研究にかかるコスト構造の更なる見直し

【取り組み】

- 製品ラインナップの拡充
 - ・ タダラフィル錠20mgAD「TE」 製造販売承認取得（2021/2/15リリース）
 - ・ ソタロール塩酸塩錠40mg「TE」・80mg「TE」 製造販売承認取得（2021/8/16リリース）
- アステラス製薬との販売提携終了（2021/4/5リリース）
→2022年4月から自販化の開始



タダラフィル錠20mgAD「TE」



ソタロール錠40mg「TE」

(2) 各事業の取り組み～機械関連・繊維

機械関連事業

【事業の課題】

- **消防自動車事業**については、受注精度を高めるとともに、生産性向上に取り組み、引き続き採算性の改善を図る
- 新たな事業領域の拡大による収益基盤の強化

【取り組み】

- 消防車の仕様を集約し、個別仕様中心の受注から脱却、さらに、部品の調達工数削減により生産性を向上
- 消防自動車以外の車両の拡充（特殊車）

繊維事業

【事業の課題】

- **実用衣料事業**については、国内物流拠点統合によるコスト圧縮・販路拡大に加えて、介護商品など付加価値の高い商品拡充による収益力強化を進める
- **機能性繊維**においては、新たな高機能素材の開発と耐熱性繊維の用途開発・販路拡大を進める

【取り組み】

- **実用衣料事業**における物流拠点の集約
→物流業務の更なる効率化及びコスト圧縮
- **機能性繊維**における焼成炉の増設により生産能力を増強、アルミナ長繊維新製品の開発を引き続き進める

(3) 今後の方向性

<方針> ※2020年12月期決算説明資料記載

- 構造改革に一定の目処が立ったことから、今後は不動産事業等の成長事業へ経営資源を振り向けるとともに、安定した収益構造への転換を果たした事業については、より一層の採算性改善に努めます。
- 加えて、他社との事業提携やM&Aによる成長を検討するとともに、更なる資本効率の改善や、株主還元の適切な水準への引き上げを図ることで、中長期的な企業価値の向上を目指します。

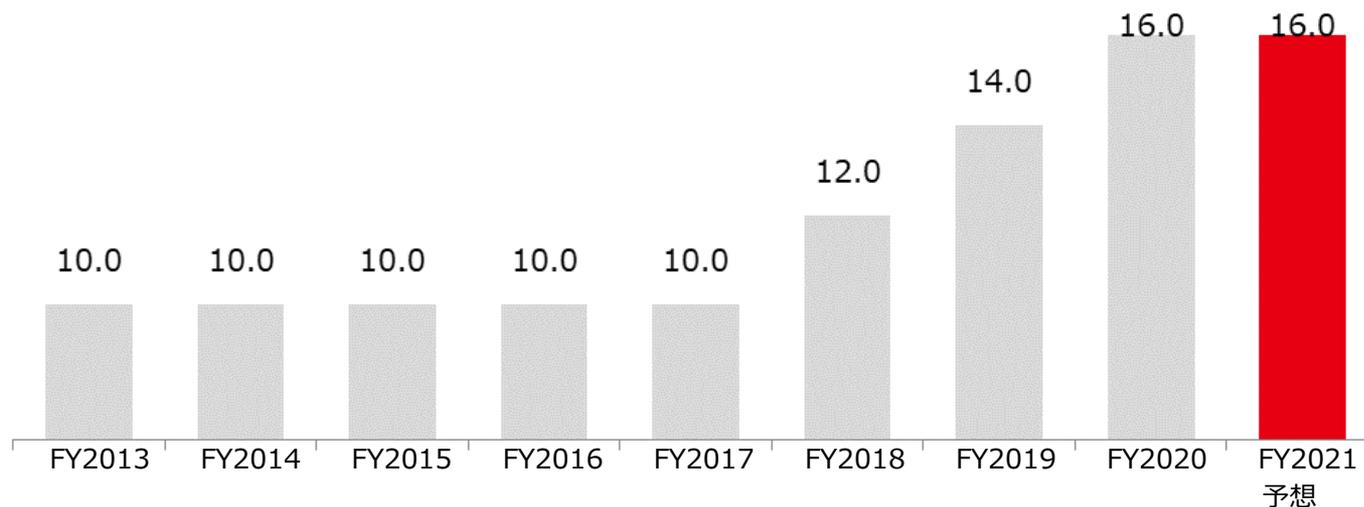
<検討の状況>

- コロナウイルス感染症の感染拡大の状況を踏まえ、短期的には警戒態勢を継続いたしますが、今後の戦略については、検討タスクフォースを組成し、新型コロナウイルス感染症の収束状況や社会の変化等を確認しながら、さいたま新都心の将来ビジョンを中心に、中長期の計画立案を進めております。
- 公表時期については、2022年2月を予定しております。

4. 株主還元について

<利益配分の方針>

- 当社は、株主の皆様への利益還元を、経営上重要な政策の一つに位置付けております。
- 利益の配分については、安定配当の実施を基本とし、業績や今後の事業展開、内部留保の水準及び配当性向等を総合的に勘案のうえ、配当を行うこととしております。



純利益（百万円）	1,001	268	226	1,691	1,224	1,283	1,732	2,871	4,400
1株当たり当期純利益（円）	28.50	7.62	6.44	48.11	34.83	36.56	49.42	82.71	126.74
配当性向（%）	35.1%	131.2%	155.2%	20.8%	34.5%	32.8%	28.3%	19.3%	12.6%

株主還元（自己株式取得）

2020年4月から実施した一連の自己株式取得により、
2021年8月までに1,843千株、2,454百万円の自己株式を取得。

①取得期間 2020年4月～2021年3月

取得結果 株式の総数：1,176千株

価格の総額：1,455百万円

→取得価格の上限（2,500百万円）に至らなかったため、2021年4月以降も継続（以下②）。

②取得期間 2021年4月～2021年12月

取得結果 株式の総数：666千株

価格の総額：999百万円

→上限に達したため、2021年8月を以って買付終了。

（ご参考）2020年4月1日～2021年8月5日までの取得結果

摘要	取得結果
取得した自己株式の株数	1,843千株
取得価格の総額	2,454百万円
自己株式残高（2021年8月5日現在）	1,907,422株
発行済み株式総数に占める自己株式の割合	5.40%

《参考資料①》カタクラグループの多角化起源

創業 1873年 (明治6年)

設立 1920年 (大正9年)

カイト

垣外製糸場



生糸



富岡製糸場の保有
1939～2005年
(66年間)



生糸製造の伝統を受け継ぐ

繊維事業

衣料品事業室
肌着、靴下の製造・販売

オグランジャパン(株)
カジュアルインナーの製造・販売

(株)ニチビ
水溶性繊維、耐熱性繊維の
製造・販売



優良蚕品種研究を活かす

医薬品事業

トーアエイヨー(株)
医療用医薬品の製造・販売



自社開発の製造ノウハウを活かす

機械関連事業

日本機械工業(株)
消防自動車の製造・販売



跡地を有効利用する

不動産事業

不動産事業部
社有地の開発・活用
ショッピングセンターの運営
不動産賃貸

《参考資料②》カタクラグループの事業構成

繊維事業

介護肌着



衣料品事業室／オグランジャパン(株)

ライセンス製品



アルミナ長繊維
(耐熱性繊維)



(株)ニチビ

医薬品事業



トーアエイヨー(株)

不動産事業

複合施設 東京スクエアガーデン



商業施設 コクーンシティ



不動産事業部

機械関連事業

消防自動車



日本機械工業(株)

その他の事業

(※) 会計セグメントの「その他」に該当

交配専用みつばち



国産はちみつ



不動産事業部

植物とペットの専門 マルベリーガーデン



ビルの清掃等



(株)片倉キャロンスービス

<ご案内>

本資料中の業績見通し等についての記述は、現時点における将来の経済環境予想等の仮定に基づいています。その実現・達成を保証または約束するものではありません。また今後、予告なしに変更されることがあります。

本資料に含まれる情報の掲載にあたりましては細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りに関しまして、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。

<お問い合わせ先>

片倉工業株式会社

住所：〒104-8312 東京都中央区明石町6番4号

企画部 総務・IR室 室長 片岡 敬裕

Tel : 03-6832-0223

Fax : 03-6832-0282

世界遺産登録「富岡製糸場」



特集WEBページ「片倉工業と富岡製糸場が歩んだ歴史」

<https://www.katakura.co.jp/tomioka.htm>